

教科	工 業		科目	船舶工学（船舶計算）		単位数	2単位（選択）	学年	2 学年
学科	機械造船科	コース	造船コース	教科書	SAIL TO THE FUTURE 造船工学2 (一般社団法人日本中小型造船工業会 全国造船教育研究会)				
副教材	SAIL TO THE FUTURE 船舶計算ワークブック（一般社団法人日本中小型造船工業会 全国造船教育研究会）								
学習 目標	1 流体の基礎的事柄を学習し、船に働く力とそのつり合いについて理解させる。 2 船の面積及び体積の近似計算方法を学習し、船の排水量の求め方について理解させる。 3 船における二次モーメントの求め方について学習し、船の復原性と安定性について理解させる。								

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知 技	思 判 表	主 体	
1 学期	4 月	第16章 船舶計算 16.1関連する基礎知識	・アルキメデスの原理や、静水圧と浮力の関係、密度、比重量、比重について理解している。				
	5 月			○	◎	○	
	6 月	16.2船のつりあい、諸係数	・船に働く様々な力とそれらの関係性について、また、船の特性を示す諸係数の考え方、計算方法について理解している。	○	◎	○	
	7 月			○	◎	○	
2 学期	8 月	16.3面積と重心	・一部を曲線で囲まれた図形の面積の近似計算方法を学び、船の断面形状の面積を算出し、同様な形状の図形における重心位置を算出ができる。	◎	○	○	
	9 月			◎	○	○	
	10 月	16.4体積と重心	・船のような一部を三次曲面に囲まれた物体の体積を近似計算することができる。また、同物体の重心位置を算出できる。	◎	○	○	
	11 月			○	◎	○	
3 学期	1 月	16.8復原性	・船における二次モーメントの考え方を理解している。そして、船の復原性を評価できる。				
	2 月			◎	○	○	
	3 月						

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	[課題・提出物等] ワークシートや課題プリント、授業ノート等の提出 [評価方法] 定期考査や小テストによる評価、学習の取組状況の評価等による総合評価
------	---